

第46回 プロテオーム医療創薬研究会

【実施日】 2013年5月29日(金) 16:00~17:30

【会場】 横浜市立大学 福浦キャンパス
先端医科学研究センターP503 会議室

【来場者】 約37名

【内容】

演題：「From proteins to Human Biology : how the Human Proteome Project might inspire Human biology research ?」

講師：Dr.Pierre Legrain

(フランス原子力・代替エネルギー庁 (CEA, Commissariat à l' énergie atomique et aux énergies alternatives) ヒトプロテオーム機構 (HUPO, Human Proteome Organization) 会長)

発表要旨：ヒトプロテオーム機構 (HUPO) 会長の Pierre Legrain 教授をフランスから招聘し、Human Proteome Project (HPP) について講演していただいた。ヒトが会話や音楽鑑賞における内耳器官の機能を例に挙げて、ヒトの生理や病態をタンパク質レベルから理解することの重要性をユニークに説明された。HPP とは、HUPO が中心となって世界各国共同でヒトの全タンパク質の発現プロファイルを系統的に明らかにしようとするプロジェクトである。一つ一つのタンパク質が、いつ、どこで、どのくらい、どのような形 (修飾や相互作用) で存在するのかを明らかにする意義などに関して講演が行われた。1時間の講演と30分の討論がなされた。講演および質疑は英語で行われた。